

[第10回上映会 記念全国上映]

1985年6月1日(日)～9月1日(日)

東京 ■ 6月1日(土)・2日(日)
会場—スタジオ200(西武池袋店8階)

浜松 ■ 6月8日(土)・9日(日)
会場—シティ8(西武浜松店8階)

名古屋 ■ 6月15日(土)・16日(日)
会場—レンタルシアター50

神戸 ■ 6月22日(土)
会場—神戸学生青年センター

京都 ■ 6月23日(日)
会場—京都都会館第1会議室

徳島 ■ 6月29日(土)・30日(日)
会場—徳島青少年センター

福岡 ■ 7月6日(土)・7日(日)
会場—秀巧社ホール

札幌 ■ 7月13日(土)・14日(日)
会場—札幌アートプラザ

旭川 ■ 7月20日(土)・21日(日)
会場—スタジオ9(西武旭川店9階)

秋田 ■ 7月27日(土)・28日(日)
会場—スタジオイン・アキタ

仙台 ■ 8月3日(土)・4日(日)
会場—仙台市戦災復興記念館

宇都宮 ■ 8月10日(土)・11日(日)
会場—サンシャイン・ミニ・シティホール

船橋 ■ 8月31日(土)・9月1日(日)
会場—スタジオF(西武船橋店8階)

各地主催および協力

東京 ■ 共催 = スタジオ200

浜松 ■ 主催 = シティ 8

名古屋 ■ 共催 = T・A・C(東海アニメーションサークル)

神戸 ■ 協力 = H・A・G(阪神アニメーショングループ)

京都 ■ 協力 = 藤田裕之

徳島 ■ 協力 = 阿波アニメーション法楽連盟

福岡 ■ 主催 = F・M・F

札幌 ■ 共催 = 北大アニメーション研究会

旭川 ■ 主催 = スタジオ9

仙台 ■ 共催 = SEND(仙台アニメーション同好会)

宇都宮 ■ 協力 = CRT栃木放送

船橋 ■ 主催 = スタジオ F

◎上映プログラム

↓ A プロ

IKIF
アニメーション百科 '81 8mm 4'00"
Circle '80 8mm 3'00"
FACE '81 8mm 4'00"
走馬燈(1) '82 8mm 3'00"
浅野優子
西のマントラ '81 8mm 2'40"
飯面雅子
浮遊卵 '80 8mm 2'30"
石田純章
IMAGE(心象)4 '81 8mm 4'00"
佳織
燈籠花火 '82 8mm 3'00"
小出正志
PUNKT '80 8mm 2'30"
鈴木敬
CAIE-B-1982-X '82 8mm 8'00"
関口和博
STEP '80 8mm 3'00"
田辺幸夫
かげ3 '82 8mm 6'30"
なべすみお
プロミネンス '81 8mm 3'15"
昼間行雄
PRISM-2 '80 8mm 2'30"
まつばらあつし
Lunatic '81 16mm 4'00"
峰岸恵一
WATER '85 8mm 6'30"
武藤英明
SMOKER '80 8mm 2'30"
山崎ゆり
どうー? '81 8mm 1'30"
やすのゆうじ
あ・ばい・ふろだくと1 '81 8mm 1'27"
あ・ばい・ふろだくと2 '81 8mm 0'47"
あ・ばい・ふろだくと3 '84 8mm 1'15"
渡部隆
SPIN '82 8mm 5'00"

↓ B プロ

IKIF
アニメーション百科 '84 8mm 3'00"
転化 '83 8mm 5'00"
CAMERA OBSCURA '84 16mm 2'00"
浅野優子
月の娘 '83 8mm 4'00"
飯面雅子
泡蝗螂 '83 8mm 3'00"
石田純章
いちにち
一休みの日には…編一 '83 16mm 6'00"
稲垣貴士
存在者たちへ '83 8mm 4'30"
大川比呂之
U-DON '84 8mm 1'30"
佳織
モスラ '84 8mm 1'00"
黒坂圭太
変形作品第2集作品2 '84 8mm 28'00"
佐々木こづ枝
VARIMATION '84 8mm 6'30"
柴田良二
24士 '82 8mm 2'00"
鈴木敬
KILA '83 8mm 3'00"
田辺幸夫
かげ4 '83 8mm 4'50"
かげ2 '84 8mm 3'40"
なべすみお
パラサイト '82 8mm 2'10"
昼間行雄
マクロゾーン '82 8mm 6'00"
松井理和子
「ネコ」をめぐる '83-84 8mm 5'30"
「ものがたり」
まつばらあつし
ウ '81 16mm 4'00"
三木仁
FLASH '83 8mm 3'00"
Jinja '84 8mm 2'30"
峰岸恵一
PULSE 3 '85 8mm 8'00"
山崎ゆり
しんねん '84 8mm 2'00"
やすのゆうじ
ぐうにゅ '84 8mm 1'10"
リテイク '84 8mm 4'00"
渡辺亮
DANCING '83 8mm 3'00"

企画構成 ■ アニメーション80

進行責任 ■ IKIF

印刷物 ■

IKIF+浅野優子+飯面雅子+昼間行雄

会計 ■ 山崎ゆり

■第10回上映会について

〈第10回上映会進行責任 木船徳光〉

↓Cプロ			
IKIF			
アニメーション百科	'85	8mm	2'00"
スクリブルボード	'85	8mm	3'00"
DIMMER	'85	16mm	5'00"
浅野優子			
柳水華苑	'85	16mm	4'30"
飯面雅子			
ブルー・キャミソール	'85	8mm	3'00"
石田純章			
光の間	'85	16mm	
伊藤有一			
OSANPO II	'85	8mm	4'00"
大川比呂之			
デージ	'85	8mm	2'30"
佳織			
人体測定	'85	8mm	2'00"
黒坂圭太			
変形作品第3番作品4 (ミックスジュース)	'85	8mm	15'00"
柴田良二			
CCC-3	'85	8mm	8'00"
田辺幸夫			
風景	'85	8mm	5'00"
土佐尚子			
MMMM……	'85	8mm	5'00"
なべすみお+渡辺亮			
鳥と少年	'85	8mm	3'00"
昼間行雄			
三時	'84	16mm	5'00"
まつばらあつし			
竹桃火	'85	16mm	
三木仁			
Guitarra mia	'85	8mm	3'00"
花たちへ	'85	8mm	3'00"
峰岸恵一			
Mの恐怖	'85	8mm	5'00"
山崎ゆり			
げんり	'85	8mm	4'00"
やすのゆうじ			
Endless Line	'85	8mm	5'00"
われーそれ	'85	8mm	0'40"

原稿を書いている時点では10回目の上映は終わっていないので、とりたてて書くことはない。まあいつもの時より、地方との連絡やスタジオ200との打合せが増えた分めんどくさくなっているが、それも各協力団体や個人のみなさんが非常に協力的なので、さほどの事はない。その上今回このプログラムやちらしなどの制作もやっているのだが、制作スタッフになってもらった、浅野さん、飯面さん、昼間くんなどがテキパキと仕事をしてくれるし、メンバーも色々頼む原稿をメ切通り届けてくれるので今の所スムーズに事は進んでいる。

冗談はこれくらいにして、今回の企画書に書いた企画意図なるものを再録しておく。「アニメーション80は1980年に発足して今年で5年目となりました。その間、東京を拠点として年2回のペースで新作上映会を行い続け、今回で10回目の上映会を迎えます。

アニメーション80は、あくまで個人単位の作家の集合体であり、作家自らの手で作品の発表の場を作り出していく為の協力機関として成立するという基本姿勢は当初より変わっておりません。

今回の上映会は第10回ということのひとつの節目であり、過去を反省し、より充実した創作活動とそのための環境作りを助成するべく、1回から9回までのアンソロジーおよび新作を合わせたアニメーション80の回顧展ともいべきプログラムを全国で上映することに致しました。

個人の創作、発表活動を東京だけでなく全国に広げ、活性化させていく足がかりとなれば幸いです。」

最後に冗談ではなく、各協力団体、個人のみなさま、講演を引き受けていただいた相原信洋氏、あいまいな原稿依頼にもかかわらず、文章を書いて下さった波多野哲郎氏、西嶋恵生氏、霜月たかなか氏、山ノ井靖氏、本当にどうもありがとうございます。

アニメーション80・五年間の軌跡

[メンバーとその周辺]

1980

- 1/10-13 ■IF no181 新作ショーケース (石田)
- 5/15 □えびせん大乱戦 グループえびせん第1回上映会〈スペース50〉 ▶アニメワークショップ卒業生のグループ
- 6/19-22 ■IF no199 新作ショーケース (関口)
- 8/6-7 ■PAF 6 (プライベートアニメーションフェスティバル)
〈中野文化センター〉
- 8/16 ■アニメ虫 新作展 (政木)〈轟二親〉
- 10/11-12 ■アニメーション80第1回上映会〈轟二親〉
- 10/25 ■個人アニメーションの地平〈造形大視聴覚室〉 ▶東京造形大学で行なわれたこのイベントでは、自主制作作品が多数上映され、討論会も行なわれた。

1981

- 3/7-8 □地球クラブ第1回上映会
- 3/26-29 ■IF no222 新作ショーケース (IKIF、飯面、小出、昼間、渡部) ▶相原信洋氏を中心に発足したグループ。
- 4/26 ■アニメーション80第2回上映会〈NEVER LAND〉
- 5/15 ■びあフィルムフェスティバル1981・実験映画スペシャル (IKIF、石田、小出、昼間)〈文芸地下〉 ▶伊藤高志の話題作「SPACY」や、ゴダールの「ヒアアンドゼア」を上映。
- 5/24 ■「なし崩しの季節」(鈴木)〈スペース50〉
- 7/2-5 ■IF no232 新作ショーケース (峰岸、大川)
- 7/9-12 ■IF no233 アニメ80作品集
- 7/20-24 ■PAF 7 (プライベートアニメーションフェスティバル)
〈全電通会館〉〈中野文化センター〉 ▶第2回上映会のプログラムを上映。
- 10/7 ■アニメーション80第3回上映会〈高円寺会館〉 ▶鈴木敬、まつばらあつし、峰岸恵一、やすのゆうじ、新メンバー。
- 11/12-15 ■IF no240 アニメーション新人展
- 11/14 ■「IKIF VOI.1 (IKIF 個展) 〉高円寺会館
- 12/4-13 ■第1回実験映画祭 (IKIF)〈スタジオ200〉 ▶毎月24本制作という怪情報飛びかう。
▶この年から「アンダーグラウンドシネマ新作展」からこの名称に改められた。

1982

- 1/30-31 ■IF No252 シネマテーク1981プログラム④(まつばら、峰岸、IKIF)
- 2/18-21 ■IF No255 パーセントパッケージ (まつばら) ▶「パーセント」は、矢沢哲、まつばらあつしらによるグループ。まつばらは、アニメ80にも第3回からなぐり込みをかけてメンバーの反応がうかがっていたのだが、期待していたほどの反応が得られずいつのまにかすっかり同化してしまったらしい。
- 3/4-7 ■IF No257 アニメーション新人展③
- 3/25-28 ■IF No260 新作ショーケース (石田)
- 4/1-4 ■アニメーションパフォーマンス'82 (IKIF、大川、関口)〈ホリギャラリー〉 ▶銀座の画廊で行なわれた特殊上映等による映像展示の試み。
- 5/8-9 ■アニメーション80第4回上映会〈スペース50〉
- 5/16 ■ANIMATION WAVE '82 (IKIF、関口)〈ぐわらん堂〉 ▶この上映会では、今関あきよしや手塚真らが観客にまじっていた。上映後の二人の感想は「関口さんでかつこいいね、アクション映画に出て来そうな人だね」だった。
- 6/3-6 ■IF No267 新作ショーケース (大川)
- 6/17-19 ■IF No269 パーソナルフォーカス'82 (稲垣)
- 7/1-4 ■IF No271 「IKIF 個展・アフターイメージ」(IKIF)
- 8/28 ■第6回アニメーションサマーフェスティバル (なべ)
- 9/9-12 ■IF No275 新作ショーケース (昼間)

- 9/18 ■PAF9 (プライベートアニメーションフェスティバル) <日仏会館>
 11/13・14 ■アニメーション80第5回上映会 <スペース50>
 12/2-5 ■IF No287 アニメ80新作集
- 12/4-12 ■第2回実験映画祭 (IKIF、峰岸) <スタジオ200>
 12/5 ■アニメーション3人展・陽と華と地と (浅野、飯面、小山) <喫茶店・華屋>

- ▶大川比呂之入会
 ▶「あんなたちのグループは誰も来ないんだから〜」と注意された。アニメ80のいかげんさが良く表われている事件であった。よって、てきとーに上映された。
 ▶なかもし3人グループによる企画。ルン。

1983

- 1/20-23 ■IF No290 シネマテーク1982 (IKIF、稲垣、昼間)
 2/3-6、10-13 ■IF No292 個人映画の特殊技術 (IKIF、峰岸)
 2/12 ■アニメーション80関西第1回上映会
 2/11-18 ■アニメーションニューウェーブ <スタジオ200>
- 2/27 ■ポストークスペシャル'80-'83 (まつばら) <OM>
 3/5-6 ■雑祭りアニメーション上映会 <豊島区民センター>
 3/20 ■同 上 <京都市伝統産業会館>
- 3/24-4/8 ■第7回香港国際映画祭 (IKIF、峰岸) <香港>
- 4/6-5/8 ■IF300回記念ニューイメージ宣言 (稲垣、峰岸)
 4/8-21 ■新世代のビデオアート展 (稲垣、柴田、土佐) <駒井画廊>
 5/12-15 ■IF No301 新作ショーケース (まつばら)
 5/15 ■プライベートアニメーションのすすめ (関口、大川) <OM>
 5/26~29 ■IF No303 アニメーション新人展 (IKIF、関口、橋本、雨宮)
 6/4・5 ■アニメーション80第6回上映会 <スペース50>
 6/25 ■アニメーションのすすめ (大川)
 7/7 ■フィルムアンソロジー・イン・スペース50 (三木) <スペース50>
 7/10 ■アニメーション上映会の映像空間展 animation chichin-puipui (IKIF、小山、昼間、峰岸) <スペースランド>
 8/7 ■Sapporo Animation wave <札幌、教育文化会館>
 8/10-14 ■芸術とテクノロジー (IKIF、峰岸) <富山県立近代美術館>
 8/13 ■函館漫画大会 (IKIF、石田、飯面、雨宮、橋本、峰岸、まつばら) <函館市民会館>
 8/26-27 ■カナダ、オタワ・ナショナルライブラリー (佐々木) <オタワ(カナダ)>
- 8/27 ■第7回アニメーションサマーフェスティバル (関口、田辺、まつばら) <日仏会館>
 9/10 ■PAF9 (プライベートアニメーションフェスティバル) <日仏会館>
 10/4-10 ■現代のアニメーション <埼玉県立近代美術館>
 10/23 ■コミックスクエア・プライベートアニメ上映会 <川崎市民プラザ>
 10/24 ■個人アニメーションの地平II <東京造形大学視聴覚室>
 11/19-20 ■アニメーション80第7回上映会 <ユーロスペース>
- 11/22 ■プライベートアニメーションのすすめ VOL.2 (大川) <スペース50>
 12/2-11 ■SCAN'83 AUTUMN (柴田) <SCAN>
 12/10-17 ■第3回実験映画 (IKIF、峰岸) <スタジオ200>
 12/22-23 ■IF No320 シネマテーク1983その⑤ (IKIF)

- ▶協力=H.A.G
 ▶相原信洋氏が構成したイベント。国内の自主制作作品、学生による作品など、たくさん作品が上映された。
 ▶「パーセント」が変化したグループ。
 ▶まんが家のイラスト入りチラシが好評の女性作家の作品を集めて上映するイベント。飯面雅子がコーディネート。
 ▶IKIFの「石化」は「石的变化」というタイトルで上映された。
 ▶個人アニメの普及につとめる。
 ▶新人の範囲はいったいどのくらいなのか。
 ▶雨宮、佐々木、橋本、三木、新メンバー。
 ▶映像パフォーマンス的イベント。
 ▶北大アニメ研による企画。
 ▶美術館による企画が増えはじめる。
 ▶佐々木の「ロッカッキズム」がアニメ部門一位となる。
 ▶びあ主催。
 ▶国内、海外の作品を多数上映。
 ▶作品数が、あまりに少なかったため、脱会していた関口が、再び出品。造形大アニメ研の平井氏の作品も借りて上映。なんとか、かっこうをつける。新メンバー稲垣貴士。

1984

- 1/22 □地球クラブ第6回上映会 <まろう堂>

- 2/11・12 ■アニメーション80関西第2回上映会
 3/3・4 ■雑祭りアニメーション上映会 <豊島区民センター>
 3/14-17 ■Media Collection (稲垣、柴田、土佐、浅野、IKIF、小山、峰岸)
 <ギャラリーK>
 3/19-24 ■TRANSFORM ANIMATION WEEK (石田、峰岸、稲垣、柴田、まつばら、土佐、
 昼間、佐々木、飯面) <トランスフォーム>
 4/8 □「関口和博アニメーションファクトリー」(関口) <ユーロスペース>
 5/12・13 ■アニメーション80第8回上映会 <ユーロスペース>
- 5/26-7/1 ■シゲとユキオのふたりのせかい (昼間) <ユーロスペース>
 5/25-6/3 ■SCAN'84 SPRING (柴田) <SCAN>
 5/25-30 ■栃木県美術の現在 (峰岸) <栃木県立美術館>
 5/31-6/3 ■IF no334 新作ショーケース (三木、黒坂)
 6/9 ■Video wave (浅野、土佐) <スタジオF>
 6/14-17 ■IF no336 パーソナルフォーカス (稲垣、柴田、土佐、飯面)
 6/21 ■三木仁+吉原健一上映会 (三木) <スペース50>
 7/14 ■造形大アニメ研新作上映会+石田純章作品集 (石田) <スペース50>
 7/22 ■SANDAY & CLDAY (飯面) <ユーロスペース>
- 7/22 □地球クラブ第7回上映会 <プレイBOX>
- 7/28 ■エルフィンランド映画展覧会 Vol.12・実験映画 (IKIF) <駅裏8号倉庫>
 8/26-9/9 ■Video cocktail (柴田、土佐、稲垣) <スタジオ200>、<駒井画廊>
 9/1・2・8・9・15 ■MOVIE OR NOT MOVIE? (IKIF、佳織、昼間、峰岸) <スタジオF>
 16
 9/6-9 ■IF no342 新作ショーケース (昼間)
 9/24 ■PAF10 (プライベートアニメーションフェスティバル) <日仏会館>
 9/24 ■非常識ポストーク愛の交換 (まつばら、浅野、飯面) <ユーロスペース>
 9/29-30 ■九州芸工大作品集 (稲垣、柴田) <スタジオ200>
 10/6 ■SANDAY & CLDAY (飯面) <ams西武8F>
 10/18-28 ■13^e FESTIVAL INTERNATIONAL DU NOUVE-AU CINEMA & VIDEO (柴田) <モント
 リオール (カナダ)>
 11/1-4 ■IF no348 新作ショーケース (黒坂)
 11/16-20 ■映像フェスティバル'84 (IKIF、浅野、飯面、大川、なべ、峰岸)
 <旭川西武、スタジオ9>
 11/16・17-25 ■TRANS-MUTATION (IKIF) <河合塾DPホール>
- 12/1・2 ■アニメーション80第9回上映会 <アンテナ21 THE AIR>
- 12/1-4、7-9 ■第4回実験映画 (IKIF、峰岸、昼間) <スタジオ200>
 12/14 ■IF no342 シネマテーク1984 (黒坂、柴田、昼間)
 12/16 ■法政大学シアターゼロ歳末おたすけあい上映会その③ (IKIF) <法政大学学
 生会館大ホール>

▶新メンバー、柴田良二、伊藤有一。回を重ねることにメンバー各自の制作本数も増加しつつある。個人で、または、他のグループで活動していたが、さらに活動の幅を増すためアニメ80へも参加し、出品するという感じで入会したメンバーも多い。

▶ねんどアニメで有名な石田卓也とのジョイント上映。
 ▶上映会が同じ日に重なると観客は困ってしまう。

▶映像パフォーマンス、展示、講演など。

▶矢沢哲氏の作品が、エッチだった。

▶進学塾のホールで行なわれた映像パフォーマンス。

▶新メンバー、土佐尚子、黒坂圭太。大きな会場。エレベーターの光の遮光に苦勞。

1985

- 1/28-2/9 ■百田智行、やすのゆうじ 2人展 (やすの) <真和画廊>
 3/2・3 ■雑祭りアニメーション上映会 <豊島区民センター>
 3/10 ■同上 <仙台・戦災復興記念館>
 3/15~4/3 ■サイエンスビデオアート (柴田、土佐、稲垣) <有楽町西武>
 3/16・17・23・24・30・31 ■三月月のFilm party (浅野、佳織、松井、牧瀬、飯面、佐々木)
 <西武船橋スタジオF>
 3/18・20・21 ■Film Festival-NEW MEDIA II 1985 (昼間) <ヘルシンボルク、イエテボルク、
 ヴァクジオー (スウェーデン)>

▶絵画。

▶浅野、佳織によるパフォーマンスは半分宗教だった。

- 3/18-30 ■学生卒業制作VIDEO展 (伊藤) <パルコ100chTV>
 3/23-5/23 ■日本の実験映画 (IKIF) <シカゴ、ミルウォーキー、ニューヨーク、サンフランシスコ (アメリカ)>
 4/7 ■アウトランドフェスティバル (峰岸) <宇都宮教育会館>
 4/22-28 ■PFFプレフェスティバル (黒坂) <文芸地下>
 6/1-2 ■アニメーション80第10回上映会・東京 <スタジオ200>
 6/6-8 ■PFF・びあフィルムフェスティバル (黒坂) <パルコSPACE PART 3>

▶マルチ上映。

▶新メンバー、牧瀬和美。

[制作 昼間行雄]

この年表は、アニメ80の会員がアニメ80定期上映会以外に参加、出品したイベントを年代順に並べたものです。原則として、公開という形で上映されたイベントについてのみ抜粋してありますので、大学、高校等の文化祭、卒業発表会などでの上映は、省きました。

注) IF No〇〇〇〇=東京四谷のイメージフォーラムで行なわれている定期上映。
 プログラムディレクターは中島崇、池田裕之

Q&Aコーナー

■アニメーション80全体への質問

Qかつてのアニメーションの定義“コマ撮りによって無名の物体に生命をあたえる、映像ジャンルの一つ”は大幅に改める必要があると思う。どなたか考えて下さい。
A みんな自分につこうのいい定義を考えているようです。
Q やっぱり短編をたてつけに見ると1作品ごとの印象がうすれてしまう。合作で長編でもやってみてはいかが?
A いやです。
Q もっともっと関西での上映会をお願いします

ます。アニメ80って東京の団体でしょうけど、関西の人間は入れないんでしょーか?
A 入れます。関西でも九州でも北海道でも八王子の間でも入れます。作品があればの話ですが。
Q それぞれのアニメーションをとるときに技法をもっとくわしく御紹介して下さい。
A どうやってとったかを、あれこれ考えるのも、作品を見る楽しみの一つと思うので、あえて紹介しないのでした。
Q 立見までで、うらやましい限りです。

いつも会計の赤黒はどんなもんなのでしょーか?
A 今まで25回ほど上映して来ましたが、立ち見が出たのは1回位です。会計の方は、いつも赤字で、メンバーから少しずつお金を集めてそれでうめています。
Q どーゆーグループなんですか?
A 自分達でもよく知りませんが、そーとーいいかげんなグループ(?)です。

■メンバーへの質問

Q IKIFって個人ですか? 団体ですか?
A 団体です。 IKIF
Q 月の娘にこういうシーンが出てきたでしょう。私は目をキツくおさえると、次第にこういうのが見えてくるのですが、浅野さんにも見えますか?
A 明るいものを見た後などに、目を閉じると、赤と青のまだらのうずまき模様のアラベスク状に埋めつくしているのが、主に見えます。マンダラ風の幾何学模様が見えるという人もいます。 浅野優子
Q 石田さんが得意とする多くのくり返しの意味は何なのですか?
A くり返しと一言でいってもその作品ごとに違った意味を持ち、IMAGE2は動きのパリエーションの提示、IMAGE3の歩行は時間の象徴、青い鳥…は変化の前兆としての考える為の時間を意味しています。

石田純章

Q 「Counter Frame」夜景とダブルところに矢印にごまかしが出るところに何か意味があるのだろうか。
A この作品はミューラー・リアの錯視をめぐっての解釈と「みる」ことへの問いがテーマになっています。そのため、意図的にみかけの長さを等しく保ちつつ矢の向きを変えているところがあります。 稲垣貴士
Q らいからいふ、まわりこみどうやってやってるんですか。
A それ秘密のアッコちゃんでした。

伊藤有一

Q イダム2は時間が足りなかったんだろうか?
A 時間はあったんですが、使わなかったのです。 大川比呂之
Q 「モスラ」あのあと家はどうなったのだろう。すて身の迫力を感じました。
A 家をたてなおすことになり、そのままこわすのは残念なのでくがきました。最後は、家の外まで、およんだので、近所のわらいものになりました。 佳織
Q 長いですね。1〜2分でも表現しきれるのは? と思ってしまいますが。

A この作品は、一種の環境映像として受けとめていただいても差支えありません。長いと思われる箇所は無視して、美しいと感じられる部分が現われたら、そこだけ楽しんでいただければ幸いです。 黒坂圭太
Q 「ROKKAQUISM」あれは全て計算してるんでしょーね。万華鏡をみている様な不思議な気分になりました。
A 計算と言える程の計算かどうかはわかりませんが、私なりの方程式がありますから全てそれにあてはめて作ります。方程式は計算のできるものと図作によるもの二通りです。万華鏡は、'82年以降の作品で、意識している所がありますネ。佐々木こづ枝
Q 「CCC」のコンピューターにシネカリさせるって、いったいどーやるんですか…??
A X-Yプロッタというコンピューターでコントロールして図面を描かせる機械を使って、フィルムに直接油性ペンで描くのです。

柴田良二

Q 「かげ4」は選曲がいいですね。ストーリーはあるんですか。
A あると思えばストーリーはあるでしょう。この作品は残像のイメージから組み立てたもので、作った側としてはストーリーはあまり意識せず、抽象性を保つていこうと考えながら制作しました。 田辺幸夫
Q MASK…私、小さいときからレントゲン写真がとてこわかった…のに。ううっ。ところであのガイコツは土佐さんのなのかな。

A おかげ様で最近の趣味は、目に映る人々のズガイコツを想像してしまうことです。きっとあなたのは、想定外形をしているでしょう。ぜひ、1度拝見したい!

土佐尚子

Q 昼間行雄さんの作品(「マクロゾーン」「大彗星」)について——精神分析上実にオモシロイ! 彼は、何とかして、社会を闊歩したいという気持が、自分自身によって押えつけていて、かなりの抑うつ状態に陥っているようだ。そのため人間に対する不安、不信感を持っている。不安神経症的な面が

ある。だからもっとリラックスして、社会生活を送ってはどうか。ストレス過多です!
A 「マクロゾーン」は、ちょっとエッチな気分て撮ってましたし、「大彗星」は、ただ単に「妖星ゴラス」をまねただけです。僕はパッパパーよ。あんたエライなー。分析すごいな。わーえらいえらい。

昼間行雄

Q 松井さんの「残像」の美しい女性のモデルは誰ですか?
A とある雑誌のなかの切り抜きからお顔を拝借しました。 松井理和子
Q 三木仁氏はもっと体に栄養をつけるべきだ。
A おごっておくれ、角田クン。 三木仁
Q SITUATION どうやって撮影したんですか。
A 勝手に考えてください。あの程度は見ただけでわかるようでないと、いけません。こういう質問は、私自身が恥かしくなります。いつかそのうちに、改訂増補版をつくりたいと、ひそかにたくらむわたくしです。

峰岸一

アニメーション80第10回上映会
発行■アニメーション80 ©1985
編集■IKIF／浅野優子／飯面稚子／昼間行雄
レイアウト■IKIF
印刷■ポプルス

同人誌、詩集の印刷は安くて早い

ポプルス

西多摩郡瑞穂町石畑769ジャパマハイツ310

☎0425(52)0596

第10回記念全国上映スケジュール

- 東京 6月1日(土)・2日(日) ■スタジオ200 (西武池袋店8階)
●主催: スタジオ200・アニメーション80
- 浜松 8日(土)・9日(日) ■シティ8 (西武浜松店8階)
●主催: シティ8
- 名古屋 15日(土)・16日(日) ■レンタルアター50
●主催: アニメーション80・TAC(東海アニメーションサークル)
- 神戸 22日(土) ■神戸学生青年センター
●主催: アニメーション80 ●協力: H.A.B.(阪神アニメーショングループ)
- 京都 23日(日) ■京都会館第1会議室
●主催: アニメーション80 ●協力: 藤田梅子
- 徳島 29日(土)・30日(日) ■徳島青少年センター
●主催: アニメーション80 ●協力: 有志アニメーション法連連盟
- 福岡 7月6日(土)・7日(日) ■秀巧社ホール
●主催: 秀巧社
- 札幌 13日(土)・14日(日) ■札幌アートプラザ
●主催: アニメーション80+北沢アニメーション研究会
- 旭川 20日(土)・21日(日) ■スタジオ9 (西武旭川店9階)
●主催: スタジオ9
- 秋田 27日(土)・28日(日) ■スタジオイン・アキタ (本館西武4階)
●主催: アニメーション80 ●協力: 秋田デザイン事務所
- 仙台 8月3日(土)・4日(日) ■仙台市戦災復興記念館
●主催: アニメーション80 ●協力: GENPI仙台アニメーション研究会
- 宇都宮 10日(土)・11日(日) ■サンシャイン・ミニ・シティホール
●主催: アニメーション80
- 船橋 31日(土)・9月1日(日) ■スタジオF (西武船橋店8階)
●主催: スタジオF